

1,1,1,-トリクロロエタン

1,1,1,- Trichloroethane



1. 別名

メチルクロロホルム 三塩化エタン
-トリクロロエタン

2. 性質

液体 無色 甘い臭気

分子量； 133.4 比重； 1.338

蒸気密度； 4.6 沸点； 73.9

蒸気圧； 13.3kPa(蒸気濃度13%)

爆発範囲； 8～16% 発火温度； 537

溶解性； 微

許容濃度； 日本200ppm

米国350ppm(TWA)

450ppm(STEL)

管理濃度； 200ppm

3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性； 不燃性の液体である。

人体への影響； 麻酔作用，肝・腎への障害作用がある。吸入する蒸気の90%以上が未変化のまま肺から排出され，体内への蓄積は少ない。

濃度と作用

濃度 [ppm]	時間 [分]	作用
500	78	軽い一過性の眼粘膜刺激のほか異常なし
900	20	軽度のみまい
1,000	30	不快な臭い，軽い眼粘膜刺激
2,000	30	不快な臭いが強い，平衡感覚障害
2,650	15	強いめまい，耐えられる人もある

4. 他の分析方法

ガスクロマトグラフ法(NIOSH)

5. 用途及び発生場所

金属の洗浄剤，エアゾール用，溶剤，接着剤

6. 関係法令

安衛令(名称等表示)，有機則(第2種)，危険物船送則(毒物)，IMDGコード・クラス6-1

7. 検知管の適用

